小4理科 実験器具の使い方 No.1

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

なまえ

出席番号　　必要な人は書く

問1　アルコールランプに火をつけるとき、何に火をつけて近づけますか。

- ○ 別のアルコールランプ
- ○ 紙のたば
- ○ ろうそく
- ○ マッチ

問2　アルコールランプを正しく使うとき、しんは何ミリメートルくらい出ている状態が適切ですか。

- ○ 約5ミリメートル
- ○ 約50ミリメートル
- ○ 約30ミリメートル
- ○ 約15ミリメートル

問3　アルコールランプやガスコンロなどの加熱器具を、机の端（はし）に置いてはいけないのはなぜですか。

- ○ 器具が冷えて火が消えてしまうから。
- ○ 器具に風が当たりやすくなるから。
- ○ 器具が汚れて使えなくなるから。
- ○ 器具が倒れやすくてあぶないから。

問4　アルコールランプにアルコールを入れるときの正しい方法について説明しているものはどれですか。

- ○ アルコールはまったく入れずに、芯だけをセットする。
- ○ 全体の8分目（または3分の2程度）までに抑えて入れる。
- ○ 容器からあふれそうになるまで、いっぱいに注ぐ。
- ○ 芯の先が少しぬれるだけの、ごくわずかな量にする。

問5　アルコールランプに火をつけるとき、マッチの火はどの方向から近づけますか。

- ○ ななめ上から
- ○ 横から
- ○ 下から
- ○ 上から

問6　火を使う実験の準備として、ぬれたぞうきんを近くに置いておくのは、どのようなことにそなえるためですか。

- ○ 机のよごれ
- ○ 実験のやりなおし
- ○ 万が一の事故
- ○ 道具の片づけ

問7　アルコールランプの火を消すとき、ふたはどのようにかぶせますか。

- ○ まっすぐ横からすばやくかぶせる
- ○ ななめ下からゆっくりかぶせる
- ○ まっすぐ上からゆっくりかぶせる
- ○ ななめ上からすばやくかぶせる

問8　実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるとき、ボンベの切れこみの部分はどちらの向きにしなければなりませんか。

- ○ 下
- ○ 左
- ○ 上
- ○ 右

小4理科 実験器具の使い方 No.2

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

なまえ

出席番号　　必要な人は書く

問1　アルコールランプを安全に使うために、中に入れるアルコールの量は全体のどれくらいまでにしますか。

- ○ 5分目（または半分程度）
- ○ 8分目（または3分の2程度）
- ○ 2分目（または5分の1程度）
- ○ 10分目（または満タン）

問2　アルコールランプの火を消すときには、何を使いますか。

- ○ うちわ
- ○ ふた
- ○ 水の入ったコップ
- ○ ぬれたぞうきん

問3　理科室で「安全に気をつけて実験を行う」のは、何を防ぐためですか。

- ○ 事故
- ○ 掃除
- ○ 宿題
- ○ 遠足

問4　実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるとき、上にする必要があるのはボンベのどの部分ですか。

- ○ 底の部分
- ○ 切れこみの部分
- ○ 平らな部分
- ○ シールの部分

問5　アルコールランプのしんの長さについて、正しい説明をしているものはどれですか。

- ○ しんがランプの中に完全にかくれている状態が適切です。
- ○ 約5ミリメートル出ている状態が適切です。
- ○ しんがランプの外に10センチメートル以上出ている状態が適切です。
- ○ 約5センチメートル出ている状態が適切です。

問6　火を使う実験を行うときに、万が一のことにそなえて、必ず近くに置いておくものは何ですか。

- ○ かわいたぞうきん
- ○ かわいた紙
- ○ ぬれたぞうきん
- ○ あつい手袋

問7　理科室で実験をするときに、けがなどの事故を防ぐために、もっとも大切にしなければならない心構えは何ですか。

- ○ 安全に気をつけて実験を行うこと
- ○ 実験をできるだけ早く終わらせること
- ○ 道具をたくさん並べておくこと
- ○ 教室をにぎやかにして楽しむこと

問8　アルコールランプやガスコンロなどの加熱器具を実験で使うとき、置いてはいけない場所はどこですか。

- ○ 倒れやすい机の端（はし）
- ○ 安定した実験台の上
- ○ 平らな机の真ん中
- ○ 倒れる心配のない安全な場所